

2-5 AIMS プログラム

(1) AIMS プログラムについて

AIMS (ASEAN International Mobility for Students) プログラムとは、マレーシア・インドネシア・タイの各国政府共同による学生交流支援事業 (2010 年開始) が起源となる、アジア発の国際共同教育プログラムです。

アジアが「環境と調和した多文化共生社会の持続的発展」の道をたどるのかどうかは、世界の未来を左右する影響があり、その実現に貢献することは、私たちにとって重要な課題です。本プログラムでは、「アジアの持続可能な成長に貢献する地域リーダーの育成」を目標として、ASEAN 地域の提携校に 1 学期留学します。さまざまな産業を取り巻く環境と地域社会の抱える問題に直接触れることで、持続可能な社会を実現するための自立的な問題解決能力を有するグローバル人材へと成長していきましょう！

【注意】以下の説明は、平成 30 年度の 3 年次を対象としたものです。今後変更になる可能性があるため、皆さんを対象に開催される説明会に参加して、最新の情報を入手してください。また、このプログラムの詳細を知りたい学生は、共通教育センター又は各学部にお問い合わせください。

(2) 対象学部・対象年次

人文学部、理学部、及び農学部学生の 3 年次生 (以上) が対象となります。

(3) 留学先・募集人数・応募資格等

1) 留学先

○インドネシア共和国

- ・ボゴール農科大学 (IPB) 農学部／農業工学部食料科学技術学科 (農学・食品科学系)
- ・ガジャ・マダ大学 (UGM) 農学部 (農学系)
- ・スリウィジャヤ大学 (UnSri) 農学部 (農学系)

○タイ王国

- ・カセサート大学 (KU) 農学部熱帯農学国際プログラム等 (農学・理学系)
- ・チェンマイ大学 (CMU) 国際カレッジ (理工学・人文社会科学系)

○ブルネイ・ダルサラーム国

- ・ブルネイ・ダルサラーム大学 (UBD) 理学部等 (理工学・人文社会科学系)

2) 開講科目

各大学で開講される科目一覧については、派遣前年度の後期に通知される AIMS プログラム派遣学生募集要項を参照してください。

3) 募集人数

6 大学合計で 14 名程度 (希望状況を考慮して各大学への派遣人数を調整します)

4) 応募資格

学修意欲及び目的意識をしっかりと持ち、積極的に学業に臨み、留学先の学生や教職員等とも積極的にコミュニケーションをとることができる者で、下記要件を満たしている者。また、TOEIC、TOEFL- ITP または TOEFL- iBT を受験している者。

(参考：平成 29 年度の各学部の応募資格)

- ・農学部生：3 年終了時に総単位数が、生物生産科学科の学生は 93 単位以上 (推奨)、資源生物科学科の学生は 100 単位以上 (内必修科目 45 単位以上)、地域環境科学科の学生は 96 単位以上修

得見込である者。

- ・理学部生：4年次前学期までに通年・後学期開講科目を除き、卒業に必要な単位がすべて修得見込みである者。
- ・人文学部生：TOEFL- ITP 550点またはTOEFL- iBT80点以上を取得している者。

4) 選考基準

- ・書類審査：志望理由、英語力、学業成績を総合して判断します。
 - ・面接：派遣学生に相応しい人物であるかを判断します。
- ※ 募集人数に満たない場合でも、選考基準により採用されない場合があります。

(4) 費用

- ・原則として渡航費用は自己負担となります（10～25万円程度）。渡航日程の調整や航空券の手配は大学がサポートします。
- ・派遣先大学での授業料は徴収しません。
- ・生活費用（食費、宿舎等）は自己負担となります（月3～6万円程度）。
- ・留学前に予防接種や査証取得にかかる費用が必要となります（2～4万円程度）。
- ・海外留学保険（学研災付帯海外留学保険）に加入して頂きます（5万円程度）。

(5) 奨学金

- ・（独）日本学生支援機構の海外留学支援制度（短期派遣・5か月×7万円）に応募することができます（学業成績および所得の基準あり）。
- ・応募者数が奨学金の割り当て人数を超える場合は、学業成績（GPA）によって受給者を決定します。
- ・その他の助成金（海外旅費支援金等）の利用可否については、別途通知します。
- ・奨学金を得られない場合にAIMSプログラムへの参加を取りやめる場合は、AIMSプログラム履修願に明記をお願いします。
- ・奨学金の初回振り込みは、渡航後に在籍確認をおこなってからとなります。

(6) 修了要件

- ・派遣先大学では、およそ9～15単位分の科目を履修します。ただし、推奨される単位数が個別に定められていたり、履修科目が指定されていたりする場合があります。
- ・修了要件を満たした学生には、東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター（SEAMEO-RIHED）で定めた「AIMSプログラム修了証」が各大学から与えられます。ただし、大学独自の修了証が発行される場合もあります。

(7) 単位認定

- ・留学先で修得した単位は、申請により所属学部の審議を経たうえ、茨城大学における修得単位として認められます。
- ※ 派遣中に履修科目情報を提供するほか、帰国後すぐに「単位認定願」を提出する必要があります。
- ・認定された科目の成績はGPAには算入されません。

(8) 事前・事後教育

- ・東京農工大学・茨城大学・首都大学東京が事前共通教育を提供する場合は、可能な限り参加し

てください。

- ・ 帰国後、留学の効果測定にご協力いただく場合があります（学内で実施する TOEIC または TOEFL の受験等）。
- ・ 派遣学生は本学における広報活動（学内説明会及びオープンキャンパス等）において積極的に参加していただきます。

(9) 注意事項

- ・ 派遣先大学で履修する講義はすべて英語で行われます。
- ・ 派遣先大学の事情により、予定通り授業が開講されない場合があります。
- ・ 留学期間中は、休学とはなりません。
- ・ このほか、学部毎に様々な注意事項があります。詳細は、共通教育センター又は各学部にお問い合わせください。

次ページに、参考に海外協定校から受け入れる AIMS プログラム留学生向けに本学で開講している全学共通科目一覧を掲載しています。AIMS プログラムに興味がある学生や、留学生とともに英語による授業を履修したい学生も履修することができますが、自由履修となるので注意してください。

全学共通科目

| 授業科目 | 区分 | 単位数 |
|-------------------|-------|-----|
| 地域サステイナビリティ学概論 | 講義 | 1 |
| 環境共生論 | 講義 | 2 |
| 環境保全型農業論 | 講義 | 2 |
| フィールド実践演習 | 演習 | 1 |
| 環境変動適応・防災論 | 講義 | 2 |
| 地域環境管理論 | 講義 | 2 |
| 地域サステイナビリティ学特別講義Ⅰ | 講義 | 1 |
| 地域サステイナビリティ学特別講義Ⅱ | 講義 | 1 |
| 地域サステイナビリティ学ゼミナール | 演習 | 1 |
| 地域サステイナビリティ学ラボワーク | 実験・実習 | 2 |